

「一席、はなしたい！」

落語好きが高じて、

「自分でもはなしてみたい！」

「自分も高座に上がってみたい！」

それで、作ってみました。

札幌落語倶楽部は、「落語をはなすのが楽しみ」という社会人の会です。

月例の稽古会で噺の腕を磨いています。

最近は内容も広がり、ウクレレ漫談・曲芸などの寄席芸を行うメンバーもいます。
はなし出すと聴いてもらいたいもの…。

年5回定期的に『さつらく寄席』を開いています。また3月の『ひな祭り寄席』などの会も開いています。ぜひ、一度お越しください。



札幌落語倶楽部・伊達家 粹鏡

「笑門来福」

皆様の毎日の暮らしのそばに笑いがいてほしい。

下駄を履いて落語を聴ける街。札幌がそんな街になったらいいなと思っています。自分たちもはなして楽しみたいし、みなさんにも聴いて笑ってほしい。

それで高座依頼にも応えています。高齢者マンション・老健(介護老人保健施設)・特養(特別養護老人ホーム)・グループホームなどお年寄りの方の施設をはじめ、区民センター、病院、町内会、学校、子ども会、各種店舗など、一般の方々からの多様な依頼にも応えています。お声かけください。



札幌落語倶楽部・宝玉斎 こん太